



神島で防災ツアー

8月6日～7日、神島町で1泊2日の防災ツアーが開催されました。このツアーは、鳥羽防災ボランティアほっとが子どもたちに防災意識を高めてもらおうと毎年企画しているものです。

6日は、愛知県立大学の清水教授から災害弱者の視点に立った避難のありかたについての講演が行われ、町民のかたがたと一緒に防災対策を学びました。

また参加者は、災害時に役に立つものなどを探して島内を散策したり、自分たちで作った紙食器や牛乳パックの Spoon を使って非常食の無洗米やカレーを試食しました。



鳥羽歴史さんぽ道・3Dトリックアート

鳥羽旅館事業協同組合は城山公園下の壁面2か所に巨大壁画を設置しました。歩道にある足形から写真撮影をすると、九鬼水軍の大型軍船・日本丸が飛び出して見える3Dの仕掛けが施されています。また、鳥羽の歴史と文化を分かりやすく紹介したパンフレット・鳥羽歴史さんぽ道mapも作成され、同組合の中村和人さんは「パンフレットや壁画をみて、九鬼嘉隆ゆかりの地を巡ってもらいたい」と述べました。鳥羽歴史さんぽ道mapは、各旅館をはじめ、観光客が訪れる場所に設置される予定です。



相差ゆかりの歌手がチャリティー歌謡ショー

7月10日、相差町で歌手・鳳城朋美さんのチャリティー歌謡ショーが開催されました。鳳城さんは、相差町が毎年11月に行っている駆逐艦・春雨の慰霊祭100年目に作られた歌「さらば星になれ」をきっかけに縁を深くしました。

会場では、熊本地震の義援金を募り、売り上げの一部を合わせた67,523円が木田市長に手渡されました。いただいた義援金は日本赤十字社を通じて、熊本地震の被災地へ送られます。



Welcome to 鳥羽

8月11日～20日、姉妹都市・サンタバーバラ市の中学生4人が鳥羽市にホームステイしました。

中学生たちは滞在中、書道や陶芸など日本の文化を体験しました。また、伊勢市の安土桃山文化村では忍者や江戸時代の姫の格好をし、日本の歴史を体感しながら散策を楽しみました。